

旭川市農業センター（愛称：花菜里ランド）の概要

1 設置目的

本市農業の振興を推進するため、各種の農業支援機能を集積するとともに、都市と農村の交流機能を兼ね備えることで、総合的な農業支援体制の拠点化を図ることを目的としています。

2 沿革

本市における園芸作物の振興により農業経営の安定化を図るため、地域農業者からの要望を受け、昭和42年、前身である旭川市園芸センターが開設されました。その後、稲作からの転作強化を背景に園芸作物栽培への期待が高まる中、生産現場で抱えている技術課題に対応するため、地域に適応した栽培技術の確立・普及を目的とした試験研究に取り組んできました。

平成9年には土壌分析業務等の農業支援機能を充実し、市民の憩いの場となる農業公園を整備し、都市と農村の交流機能を備えた総合的な農業支援施設「旭川市農業センター」としてリニューアルオープンしました。

3 敷地面積

約9.2ha

4 主な業務内容（詳細はホームページをご覧ください）

（1）農業支援機能

野菜・花きの生産技術の試験研究

生産現場で抱えている技術課題を改善するため、野菜や花きの生産技術について試験研究に取り組み、その結果の紹介普及や、生産者からの技術相談に対応しています。

土壌分析

市内で農業を営む方等を対象として、健全な土づくりと作物別の適正施肥栽培の普及を図るため、土壌分析診断を行っています。

残留農薬分析

旭川青果物出荷組合連合会等の農業団体が作成している「栽培防除体系」に基づいて生産された野菜等の残留農薬について計画的に検証するとともに、各種実証試験を行っています。

各種研修会の開催

農業改良普及センター、農業団体等と連携しながら試験圃場見学会や技術研修会を開催しています。

（2）都市と農村の交流機能

体験農園の貸出、家庭菜園講習会等の開催

野菜や花づくりを通じて農業への理解を深めていただくため、市民体験農園の貸出や家庭菜園講習会の開催、家庭菜園の相談への対応等を行っています。

農産加工室、多目的ホール、和室の貸出

様々な農産加工品の試作体験ができる農産加工室、各種会議等のできる多目的ホールや和室の貸出を行っています。

農業公園の開放

花壇、池、宿根草園、芝生などを配置した農業公園を開放しています。

5 主な施設

(1) 農業支援施設

土壌分析室	土壌分析診断により適正施肥栽培と土づくりを推進しています。
残留農薬分析室	残留農薬関連試験の実施によりクリーン農業を推進しています。
栽培試験圃場	育苗用温室2棟，優良種苗研究用温室1棟，育苗用硬質フィルムハウス1棟 野菜及び花きの栽培試験用ビニールハウス15棟 野菜及び花きの露地栽培試験圃場1.9ha

(2) 都市と農村の交流関連（詳しくはお問い合わせ下さい）

多目的ホール	比較的大人数の会議や研修会等にご利用いただけます。 （広さ180㎡，最大150人程度） 主な設備：机，椅子，スクリーン，マイク等音響設備他
和室	少人数の会議などにご利用いただけます。 主な設備：会議用座卓
農産加工室	トマトジュースやみそ・豆腐などの農産加工品の試作ができます。
体験農園	市民向け貸し農園です。（108区画：1区画16㎡） 市の広報誌『あさひばし』1月号で利用者を募集し，2月に抽選を行います。
農業公園	芝生，池，花壇等を配置した公園です。
展示温室・ハウス	鉢花等を展示している温室と，野菜等の新品種などを展示しているハウスを開放しています。

6 場内見取り図



旭川市農業センター（花菜里ランド）

〒070-8033 旭川市神居町雨紛

Tel：0166-61-0211 Fax：0166-63-2454

e-mail：nougyoucenter@city.asahikawa.hokkaido.jp

ホームページ 旭川市役所トップページから

→ 「暮らし」をクリック

→ 「産業・仕事・消費生活」をクリック

→ 「農・林業」をクリック

→ 「花菜里ランドの概要」をクリック

→ 「旭川市農業センター（花菜里ランド）トップページ」へ